

三井物産環境基金 2012年度 活動助成 東日本大震災 復興助成（第2回） 助成案件一覧

| 分野 | 団体名 | 代表者 | 案件名 | 案件概要 | 助成期間 | 申請金額 (千円) |
|-------|--|------------------------|--|--|-----------|--------------|
| 生物多様性 | 公立大学法人 岩手県立大学 | 教授 平塚 明 | 被災地における絶滅 危惧植物ミズアオイ とビオトープの再生 | 水産業に依存する三陸沿岸部において、震災からの復興の一助とすべく自然再生を行う。津波で失われた絶滅危惧植物ミズアオイの復活を自然再生のシンボルとする。掘削による種子の採取に始まり、ビオトープの創設による保全をおこなう。その活動に被災地の子どもたちも環境学習として参加する。大学・NPO・市民団体がビオトープを拠点として心のケアをおこない、将来の復興を支える、自然への感性と理解を備えた人材を育成する。 | 3年 | ¥6,987 |
| 持続可能 | 特定非営利活動法人 サンガ岩手 | 事務局 吉田 茉莉子 | 被災地における内職 プロジェクト —現地の雇用創出 と地域のコミュニ ティーの構築を目指して— | 被災者の生活自立支援活動として内職プロジェクト、手作り手芸工房の継続的な運営など、広く被災地域住民を対象とした公益性の高い事業を行う。手芸工房の運営、手芸の制作、販売には被災地域の住民を雇用し、仕事として手芸製作活動を行うことで被災地の復興、生活再建に繋げていく。そして手芸工房の場所を利用した住民交流会を開催することで、人の集まる居場所づくりを通じた被災地での新たなコミュニティ形成を目指す。 | 3年 | ¥6,950 |
| 持続可能 | 特定非営利活動法人 結いのこころ | 理事 飯川 洋一 | 障害者雇用と竹林 整備による持続可能 な地域モデルの構築 | 宮城県松島町の社会福祉法人「松の実」は、震災の影響により受託事業が大幅に減少してしまった。このため、土壌改良材の梱包作業を「松の実」の障害者が受託することで、被災地における雇用を維持する。また、土壌改良剤の原材料である伐採後の竹は産業廃棄物であり、これを資材化することにより、里山の環境保全に寄与する。 | 3年 | ¥2,982 |
| 持続可能 | 特定非営利活動法人 郡山ベップ子育てネット ワーク | 理事長 菊池 信太郎 | 低線量放射線環境 下に生きる郡山の子 どもたちのため、地 域の大人達が子ども たちを守り育てる環 境作り(PEP Kids Koriyama運営、子ど ものケア、放射線関 連教育) | 福島第一原子力発電所の事故後、持続する放射線低線量環境下で、次の世代を担う子供達を守り、育てていく環境作りを、地域の大人達が総力を挙げて実行する。既存の『郡山市震災後子ども心のケアプロジェクト』と連携し、特に、子供達が遊んだり運動する環境の提供と整備、子供の心のケア、親への子育てのアドバイスと支援、放射線や関連する健康被害に関する知識の啓発活動を行う。 | 3年 6ヶ月 | ¥11,500 |
| 持続可能 | 特定非営利活動法人 まちづくり ぐるっとお おつち | 事務・経理ス タッフ 小西 貴生 | 大槌町の伝統工芸 品・特産品の復興と 新たな地域コミュニ ティの形成 | 東日本大震災で甚大な被害を受けた岩手県大槌町において、復興活動を推進しながら持続可能な社会を構築していくために、体験工房併設型の物産館を設置し、地元のプロデューサーと交流を深めながら、大槌町の伝統工芸品や特産品を町内外に広く紹介していく。また、新たな名産品を町民が主体となって作成し、大槌町の新たな魅力を生み出し、支援という受け身の形から自立した生活環境を形成していくことを目的とする。 | 1年 | ¥6,000 |
| 持続可能 | 特定非営利活動法人 CRMS市民放射能測定 所 福島 | 理事 清水 義広 | 市民による食品等放 射能測定の全国共 通データベースの構築 | 原発震災以降、全国各地に市民放射能測定所が設立され、公に対するセカンドオピニオンとして機能してきたものの、各地の測定データが適切に管理されていない。そこで全国共通の食品等放射能測定データベースサイトを構築するとともに、データ品質の向上・維持に取り組み、信頼できる情報を公開する体制を整える。これにより、消費者、生産者、研究者、国・自治体、各々の立場に対する情報提供に貢献する。 | 1年 6ヶ月 | ¥8,789 |

三井物産環境基金 2012年度 活動助成 東日本大震災 復興助成（第2回） 助成案件一覧

| 分野 | 団体名 | 代表者 | 案件名 | 案件概要 | 助成期間 | 申請金額 (千円) |
|------|----------------|-----------------|----------------------------|---|-----------|--------------|
| 持続可能 | 学校法人 東北工業大学 | 教授・学科長 菊地 良覺 | 雄勝石産業の復活 を核とした生産とくらしの再生 | 震災により雄勝石産業は壊滅的な被害を受け、雄勝町では人口流出・産業崩壊が著しい。本事業では東北工業大学と雄勝硯生産販売協同組合が連携し、復興再生のための「拠点づくり」「人材育成」「産業再生」を主目的に実践的活動を行う。具体的には、拠点施設を建設し、それを中心に調査・ワークショップ事業や地域資源の再評価を行い、他産業と連携し、商品・流通開発や他地域交流を図り、新たな再生戦略の構築を目指す。 | 3年 6ヶ月 | ¥14,954 |

合 計： 7件

58,162千円